令和5年度　第1学年　技術科　年間指導計画

月	題材名	時数	目標	学習指導要領	観点別学習状況の評価則準	評価方法	「資質･能力」
4月	技術分野のガイダンス	2	･身の回りの製品に込められた技術の工夫やアイディアを調べ，発表する。 ･技術の発達による生活や産業の変化を調べる。 ･身の回りの製品などを「技術の見方･考え方」の視点で観察する。 PDCAサイクルに沿って問題解決を行うことを確認するとともに，社会のおける問題解決も同様の流れであることを知る。 ･3年間の学習内容を確認し，技術の学習を生かして，3年後にできるようになっていたいことを内容ごとにまとめる。	ABCD（1）ア （学）	･3年間の技術分野の学習に見通しを持ち，主体的に学習に取り組もうとしている。	ワークシート	主体性 主体性 主体性 主体性 表現力
5月	材料と加工の技術の原理･法則としくみ★	5	身の回りの製品を見て，なぜその材料が使われているか考え，使われている材料と加工技術について調べる。 ･木材，金属，プラスチックの特性を理解し，どのような製品に利用されているかまとめる。 ･材料に適した加工方法について学び，理解できる。 ･丈夫な製品をつくるために必要なことを学び，理解する。 ･材料と加工の技術の工夫を読み取ることができる。	A（1）アイ （知） （思） （学）	･身のまわりの製品に生かされている材料の特性と材料に適した加工方法について理解しようとしている。 ･木材，金属，プラスチックなどの特性と特性を生かした利用方法について理解しようとしている。 ･目的とする加工に応じた工具や機器について理解しようとしている。 ･身の回りの製品を丈夫にする方法を調べる活動などを通して，構造と部材を丈夫にする方法について理解しようとしている。 ･身のまわりの製品が材料と加工技術によって最適化されていることに気づき，材料と加工の技術に込められた工夫点について考えようとしている。 ･主体的に材料と加工の技術について考え，理解しようとしている。	ワークシート テスト	主体性 主体性 主体性 主体性 主体性
6月 7月 9月 10月 11月	材料と加工の技術による問題解決◎	17	･問題の発見，課題設定ができる。 ･製作物の構想設計ができる。 ･製図をかくことができる。 ･製作の計画を立てることができる。 ･作業手順を考えた製作ができる。 ･問題解決の評価，改善･修正ができる。	A（2）アイ （知） （思） （学）	･「技術の見方･考え方」を働かせて，問題を発見し，自分なりに課題を設定する力を身に付けている。 ･製作に必要な図のかき方を理解している。 ･製作に必要な図を表すことができる技能を身につけている。 ･構想に基づいて，製作の計画を立てることができる力を身につけている。 ･安全に･適切な政策や検査･修正をすることができる技能を身につけている。 ･製作の過程や問題解決の結果を評価し，改善及び修正する力を身につけている。 ･よりよい生活の実現や持続可能な社木の構築に向けて，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりしようとしている。	ワークシート テスト 作業観察	主体性 表現力 主体性 主体性 主体性 表現力
12月	社会の発展と材料と加工の技術	2	･材料と加工の技術の最適化について学び，理解することができる。 ･これからの材料と加工技術について学び，理解することができる。	A（3）アイ （知）（思） （学）	･材料と加工の技術の概念について理解している。 ･材料と加工の技術の最適化について考えている。 ･これからの材料と加工の技術について考えている。 ･よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向け，材料と加工の技術を工夫し創造しようとしている。	ワークシート テスト	主体性 主体性

1月	情報技術の原理・法則と仕組み	4	・情報技術について理解を深めることができる。 ・情報通信ネットワークのしくみについて理解を深めることができる。 ・安全に利用するための情報モラルについて学び，理解を深めることができる。 ・安全に利用するための情報セキュリティーについて学び，理解を深めることができる。	D（1）アイ D（2）ア （知）（思） （学）	・情報の表現や記録ができる仕組みを理解している。 ・情報ネットワークの構成を理解し，ネットワーク上での情報の利用する仕組みを理解している。 ・情報の特性を理解して，情報を安全に利用することができる技能を身につけている。 ・情報が社会に与える影響を理解して，望ましい情報社会のためにとるべき態度を身につけている。 ・情報セキュリティーの基本的な知識について理解している。 ・情報の安全を確保するために必要な判断や対応をする力を身につけている。	ワークシート テスト 作業観察	主体性 表現力 主体性 主体性
2月 3月	双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決	5	・双方向性のあるコンテンツについて理解を深めることができる。 ・問題の発見，課題の設定ができる。 ・コンテンツの構想ができる。 ・コンテンツのプログラムの制作ができる。 ・問題の発見，課題の設定ができる。	D（2）アイ （知）（思） （学）	・双方向性のあるコンテンツの基本的な仕組みを理解している。 ・「技術の見方・考え方」を働かせて，問題を発見し，自分なりに課題を設定する力を身に付けている。 ・使用するメディアを複合する方法とその効果的な利用方法とその効果的な利用方法を構想する力を身につけている。 ・安全で適切なプログラム制作と動作の確認，デバックができる技能を身につけている。 ・情報処理の手順を具現化する力を身につけてい ・コンテンツのプログラムの制作の過程や問題解決の結果を評価し，改善及び修正する力を身につけている。 ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて，課題解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりしようとしている。	ワークシート テスト 作業観察	主体性 表現力 主体性 主体性 表現力